

J-POWERのプロファイル

J-POWER（電源開発株式会社）は、国内の電力供給の増加を目的として、1952年に政府によって設立されました。以来、半世紀にわたり卸電気事業者として、一般電気事業者（10電力会社）に低廉かつ安定した電力を供給するとともに、全国規模での基幹送電線の建設運用を行ない、わが国の経済発展と国民生活の向上に貢献し、2004年10月には東京証券取引所市場第一部に上場し、完全民営化を果たしました。

創業当時は大規模水力発電の開発に着手し、その後は、急増する夏期の電力需要に対応するべく揚水発電の開発や大容量送電線の建設を進めました。1970年代のオイルショック以降はエネルギー源の多様化を図るため、輸入炭火力発電を積極的に開発するなど、各時代のニーズに適合する発電事業を拡大してきました。

また、1960年以降、世界60数カ国において水力・火力の電源開発に関する調査・設計・施工監理や環境対策等の電力関連コンサルティングを実施し、最近では、自ら発電事業を行なう（IPP事業）など、多彩な国際事業を展開しています。

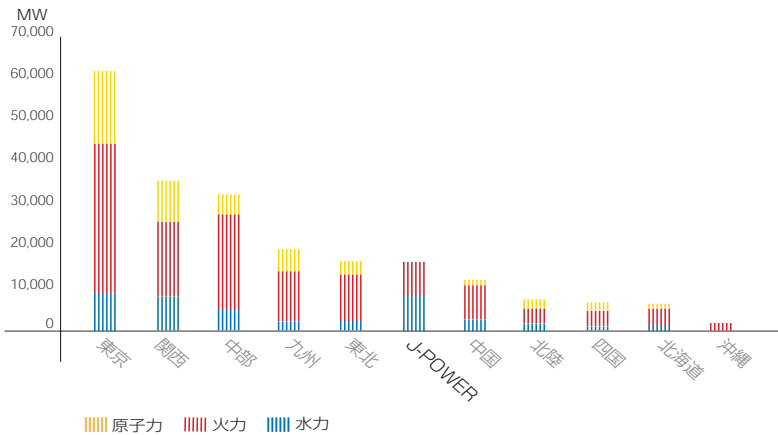
今後の電力自由化の進展や地球温暖化問題などの事業環境の変化に対応するため、卸電気事業者の競争力の強化と「エネルギーと環境の共生」を基調とする新たな事業の創出に取り組んでゆきます。

将来見通しに関する注意事項

本誌に掲載されている計画、戦略、見込みなどは、現在入手可能な情報に基づく当社の判断により作成されております。従って、今後生ずるさまざまな要素の変化により異なる結果になり得る可能性があります。

J-POWER'S POSITION

石炭火力と水力発電におけるリーディング・カンパニー



J-POWERのポジショニング

当社は日本で唯一の大規模卸発電事業者であり、発電所と電力ネットワーク上重要な送変電設備を全国に保有しています。

日本全国の電気事業用発電設備出力の約9割を、10電力会社と当社が保有している現状にあって、当社の発電設備規模は2006年3月末現在で全国67カ所、出力規模約1,638万kWで10電力会社に伍する規模を有しており、当社を含む11社中、第6位(全国シェア約7%)に位置しています。

火力発電については、当社は石炭火力に特化していることに特徴があり、石炭火力発電設備シェアは国内第1位(21%)を長年維持しています。

また、水力発電についても、電力のピーク需要対応に優れた大規模水力発電所を早くから開発しており、水力発電設備シェア(19%)はトップクラスです。

STRATEGIC BUSINESS FIELDS

J-POWERの戦略的事業領域

国内外の長年にわたる事業実績により構築された経営基盤を最大活用し、「エネルギーと環境の共生」をキーワードに、卸電気事業をコアビジネスとした「国内電力事業」をベースとして、「海外発電事業」を推進するとともに新たな事業の創出、技術開発に注力しています。

